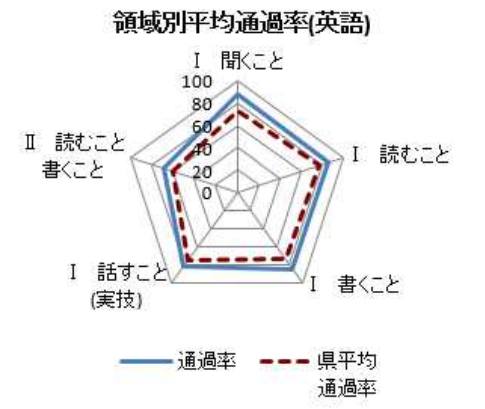


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 82.5%, 県 72.4%)

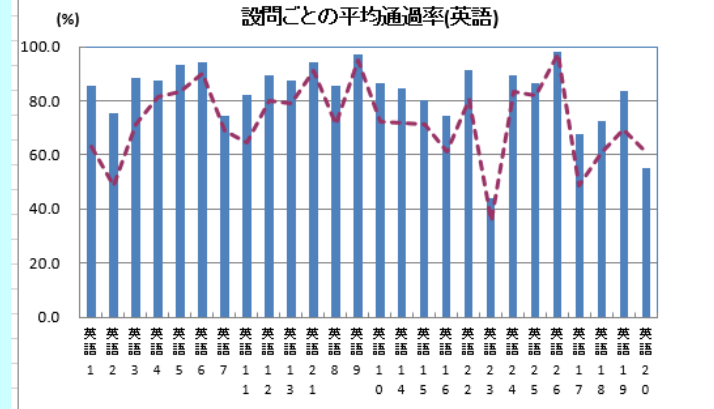
対県比 114 %

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



○全体的な傾向について
英語の結果において、タイプⅠは84.9%、タイプⅡは69.6%の通過率となっている。このことから、基礎的・基本的な内容はおおむね定着していると考えられる。しかし、タイプⅡの結果から、それを活用する表現の力が不十分な生徒が多いことがわかる。

○課題
タイプⅡのまとまりのある一貫した英語の文章を書く設問において、本校は54.9%と県全体の通過率を6.2%下まわっている。このことから、まとまった英文を自分で書くことに課題があると考えられる。



重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(まとまりのある一貫した英語の文章を書く) (通過率54.9%)

12 指定された代名詞を使い、意味のつながりを考えながら、テーマに沿ってまとまった英文を正確に書くという3つの内容が同時にできていない。

【課題2】(自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す)

(通過率44.1%)

(実技 No.2) 現在進行形の質問に対して、正しく進行形の形で答えられていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値(65%) 実施後数値(%)

和文英訳のみでなく、あるテーマに沿ってまとまった英文を自分で考えて書く自己表現活動を行い、英文を書くことに慣れさせる。また、英文の正確さに課題があったので、小テストを実施し、基本的な英文を正しく書くことができる力をつける。

【課題2】目標値(60%) 実施後数値(%)

例文や教師の発話の中で 進行形等既習文法を使用し、何度も繰り返し見たり聞いたりする中で定着をはかる。また、音声できかれたことに対してすぐ反応することができるよう、英語でやりとりする場面をつくる。

※今後の改善計画については別紙